



学校教育目標は不易であり、変えていませんが、最後の文字だけ「子」から「人」としました。松本っ子、そして関わる人全てが、ともに、

未来をたくましく生きるのに必要と定めた5つの力を、身につけていきます。また、その場面や時期は、人によって違います。

授業、生活・総合、特別活動、行事など様々な場面で「力をつける場」とし、つながりある教育活動(カリマネ)を展開します。

6年間という長いスパンの中、発達段階に応じた支援を行います。まずは「慣れる」「まねる」ところから、積み上げ、力を付け続けます。6年後の姿として「自分たちの課題も解決する。その過程を自分たちの言葉で語る」松本っ子をめざします。

「あこがれる経験」と「あこがれる経験」が今年度も松本っ子の関係づくりを支えます。縦割り交流・学年間交流の場を保障します。

「みんな、すごい!でも、自分もすごい!」
思いやり — 自己肯定感
両方を育てていきます。

令和8年度 福井市松本小学校 『主体的』『つながる』そして『次を創る』スクールプラン

学校教育目標 自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける人

【目指す学校の姿】
子どもと大人のやりがいあふれる松本小学校
児童:「仲間と協力 心一つに 次を創る 松本っ子」
保護者:「子どもが自分を発揮できる場」「相談できる場」
教職員:「子どもの成長を支援する場」「語り合える場」
【福井市学校教育方針】学びをつなぐ 未来につなげる

たくましく生きる松本っ子につけたい5つの力

⑤仲間と協働し、感動する力

③自分の考えをもち、伝える力

④失敗をおそれず、挑戦する力

①自分を知り、信じる力 ②相手を大切に、関わっていく

【R8松本小キーワードは『主体的』『つながる』『次を創る』】
『主体的』 気づき、そして興味をもつ・自分の未来とつなげてみる・見通しをもつ・粘り強く取り組む・振り返って次につなげる
『つながる』 人をつなぐ・学びをつなぐ・支援と説明をつなぐ
『次を創る』 主体的に、つながりあって、アイデアを形にしよう。ワクワクを、生み出そう。

重点目標

松本っ子みんなでつながる仲間作り

- (1) あこがられる・あこがれる関係づくり
- (2) 「声」でつながりワクワクを生み出す
- (3) 自分作り・人間関係作りのスキルアップ

具体的な取組

(1) 縦割り交流・学年間交流で「心一つに」

あこがれた経験から「自分もあこがられる人になりたい」
高学年の姿を見て「私もあこがりたい!」

(2) 「声で自己表現」のワクワクを楽しむ!

挨拶・歌声・発表・返事・つぶやき・うなずき...
様々な「声」を大切にしながらつながる学校に

(3) ポジティブ教育で、5つの力UP!

「みんな、すごい!でも、自分もすごい!」
自己肯定感や思いやりを育てる集団づくり

数値目標

- 自他を大切に、ともに取り組んでいる児童95%以上
- 特活・生活総合・行事などで場を保障した教師100%

自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童と教職員

- (1) 「特別活動」「生活・総合」「行事」をつなぎ、児童主体の時間と場に
- (2) 児童主体を可能にするカリキュラムマネジメントのさらなる促進
- (3) 児童・教職員で「自ら学び、仲間とつながる」(研究主題)を果たす

(1) 自分たちの課題を解決する。その過程を、自分たちの言葉で語る
学校生活での課題に自分たちで気づき、考えて決め、実行し、自分たちの言葉で語る松本っ子に6年間かけてなることを目指し、5つの力をつける時間と場を保障する。「松本フェスティバル」を、つけた力を発揮する場とする。将来の「自己選択・自己決定」の力につなげる。

(2) 全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開
生活科・総合的な学習と全教科・領域をつなぎ(カリマネ)、「全ての教育活動で総合的に力をつける」展開で、学習効果の最大化を図る。

(3) 研究4部会がめあてをもって立ち、ともにつながり合って果たす、教育活動の展開

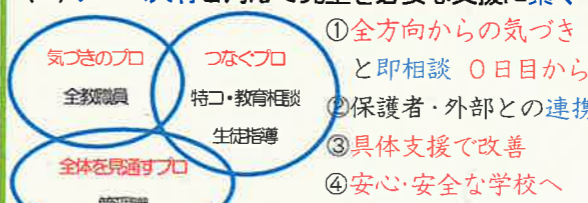


- 自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている児童93%以上
- 児童につけたい5つの力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した教師100%
- 将来の夢や目標をもっている児童90%以上
- 郷土福井の松本を大切にしたいと思う児童95%以上
- 自分にはよいところがあると答える児童90%以上
- 全教育活動とつなぐキャリア教育に力を入れている教師100%
- 児童が心と総合と松本とつながりをもつ教育活動に、意欲的に取り組んでいる教師100%

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

- (1) 「気づき→共有→支援」でつなぐ松本小
- (2) 保護者・地域とともに安全教育の推進
- (3) ワクワク!笑顔をつなぐ大作戦

(1) チーム共有と対応で児童に必要な支援に繋ぐ



- ①全方向からの気づきと即相談 0日目から
 - ②保護者・外部との連携
 - ③具体支援で改善
 - ④安心・安全な学校へ
- ・教科担任制を全学年実施 「みんなで具体支援を」
(2) 児童・PTA・地域と共に「学校安全」を考える
・避難訓練等の安全教育を保護者に公開する。
(3) 松本小の魅力発信 ~学校だより・HP等で~

- 学校が楽しいと答える児童94%以上
- 学校の考えが適切に伝えられ、教育目標や児童につけたい力について理解した保護者92%以上
- 学校全体で児童理解・支援につなげたと考えた教師100%

<昨年度(ふり返り)より(R8.4.27 全体研究会資料)>

- ・5つの力を育成しようとする教師の意識が高まり、子どもの思いからスタートして学習活動力を構想、実践できてきている。
- ・生活・総合を中心とした各教科のつながりを意識したカリキュラムの再構築ができてきた。

★子どもたちには、主体的に考え、行動しようとする力が備わっていると再確認できた。場と時間を保証し、発達段階に応じた適切な支援に心がければ、子どもたちは生き生きと、相手と関わり合いながら学習を進めていく!

目の前の松本っ子を真ん中にして、子どもたちのもつ力を信じ、集めて、豊かで楽しい、ワクワクする学びの場を創りたい。子どもとともに創ってきたこの2年間を土台として、子どもたちがこれからどのように学びを進めるのか、教師はどんな支援や工夫が必要か、考え実践する。

令和8年度業務改善の取組 (1) 各分掌で生き生きと主体的に取り組む環境づくり促進、報連相の精選化 (2) 危機管理案件には組織対応で個人負担軽減 ⇒ (1)(2)のサイクルを臨機応変に行う松本小 (3) 令和8年度も授業時数見直し実施 & 年間業務推進日を設定実施、勤務時間内の実務時間増につなげる

今年度キーワードは、「次を創る」。6年生からは「切り拓く」「新しい価値」「未来を生み出す」「オリジナリティ」など、ステキな考えが聞かれ、どんな気持ちになるか聞いたら「ドキドキハラハラする」「緊張する」「ワクワクする」「ワクワクする」など、素直な気持ちで聞かれました。そんな気持ちを味わうことを前向きにとらえられるよう、主体的に、つながり合って、子どもたちからのアイデアを形にしていきたいです。

教職員にとっての重点目標であり、この目標がなくなることはありません。「気づき、つなぎ、全体を見通して適切な支援を行う」学校体制づくりに引き続き努めます。また、保護者の皆様と連携・共有を進め、子どもたちの安心安全につなげます。

その他、避難訓練の公開(秋以降を予定)や本おたより「GO, NEXT!」HPでの発信に努めます。

昨年度中にご理解をいただき、授業時数見直し等実施させていただきました。今後も取組を進めます。